

モノづくり

NIKKAN KOGYO MONODZUKURI

月 MONDAY

ネクストステーション

火 TUESDAY

ロボット

水 WEDNESDAY

働き方

木 THURSDAY

製造・調達

金 FRIDAY

イノベーション



エムダイヤ社長

森 弘吉氏

破砕機や切断機などのリサイクル機械の販売・製造を主力とするエムダイヤ(富山県滑川市、森弘吉社長)は、このほど富山県内で新工場「立山第1工場」(同立山町)を稼働した。新工場でエンジニアリングプラスチックのリサイクルを二貫して手がけ、リサイクル能力を2021年比5割増の年180tに高める計画だ。森社長に工場建設の目的や今後の戦略を聞いた。

挑む

モノづくり ヒトづくり

た。

(富山支局長・長塚崇寛)

―新工場建設の狙いは。

「当社はエンジニアリングプラスチックのリサイクル事業を展開している。同事業はこれまで本社工場の手がけていたが、主力の分離・破砕機の生産が高水準で推移しており、リサイクル能力の拡大余地は乏しかった。まずは新工場との2拠点体制を構築。将来はリサイクル事業の全工程を新工場に移管し、生産性を高める」

―本社工場の生産能力を補完する役割も担います。

「本社工場ではスペースに限りがあり、同時に複数の大型破砕機を製造できなかった。新工場でも大型機を組み立てられるようにし、複数の機械を同時並行で生産できるようにする。受注の機会損失を減らし、

エンプラ再生新工場「コトづくり」拠点に

売り上げ規模の拡大につながる」

―新工場をサービスやシステムを創出する「コトづくり」の拠点にも位置付けます。

「新工場の竣工で、電線メーカーとリサイクル会社の間でアルミニウム電線をアルミ原料に再資源化する業務を仲介するサービスなどを拡大できる。併せて、小学生を対象とした工場見学や、リサイクル材を使った万華鏡の製作・販売なども行う計画だ。リサイクルを通じた社会的課題の啓発を実践し、子どもたちに当社を広く知ってもらいたい。将来的なリクルートにつながることも期待する」

―職場環境の整備にもこだわっています。反応や手応えは。

「当社は十数人ほどの会社だが、そのうち約半数が女性だ。大型の機械を取り扱う業界で、これだけ女性が多いのは珍しいのではないか。これは富山県の『とやま女性活躍企業』などを積極的に取得した結果だ。外部機関からの認定で、客観的に『社員を大切にしている会社』ということを示せるようになり、若い社員の定着率も高まった」